

統計アラカルト

熊本の統計情報

令和7年3月7日

県民の皆様には統計を身近に感じていただくためのページで

随時、色々な統計に関する話題・データを紹介します。

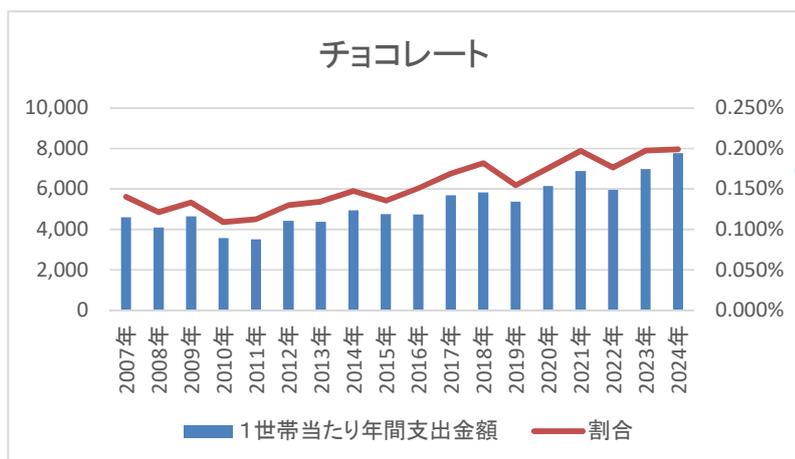
家計調査の結果を見てみよう！

皆さんは、家計調査をご存知ですか？家計調査は、総務省統計局が都道府県を通じて実施している基幹統計調査で、家計簿やその他調査票により、家計の収入・支出、貯蓄・負債などを毎月調査しています。調査の結果は、景気動向の把握、生活保護基準の検討など様々な政策の基礎資料として利用されています。

そんな家計調査の結果ですが、月単位や年単位で公表されており、直近では、令和7年2月7日に2024年平均の結果が公表されました。

今回は、熊本市の2人以上世帯の1世帯あたりの年間支出金額の結果のうち、いくつかの品目について、2007年から2024年までの支出金額の推移を見比べてみます。

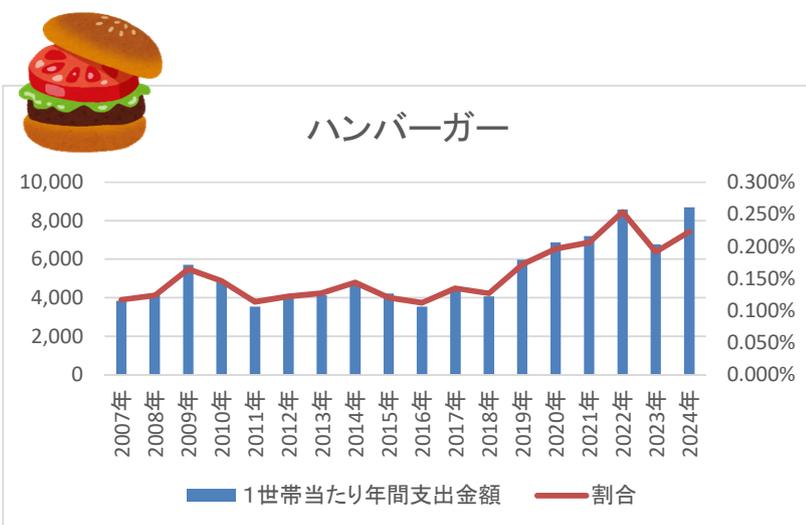
以下のグラフでは、青い棒グラフが支出金額、赤い折れ線グラフが、世帯1人あたりの年間消費支出金額に対する、その項目の支出金額が占める割合を示しています。



2月になると、デパートのバレンタインコーナーに並ぶ、きらびやかなパッケージを見て胸がおどりますよね。

最近は誰かに贈るより、自分用にチョコレートを購入する人が多く、その予算も高くなってきているとしばしば耳にします。

そこで、「チョコレート」の支出金額を見てみると、熊本市においても右肩上がりの傾向にあることがわかります。



—昨年、2022年の熊本市のハンバーガーへの支出金額が、都道府県庁所在市別のランキングで1位だったことで話題となっていました。2024年はどうなっているのでしょうか？

2024年は、8,692円で、惜しくも大分市の9,724円に次いで2位という結果になりました。

映画・演劇等入場料



旅行



皆さんは、「押し活」してありますか？推しが出演する映画を、何度も見に行く人もいますよね。ということで、「映画・演劇等入場料」への支出を見てみましょう。

コロナ禍の2020年に、一気に落ち込みますが、そこから上昇し、2024年の支出額は、2007年以降では最高金額になっています。

ちなみに、2024年の都道府県庁所在市別の結果で、熊本市は東京都区部の14,059円に次ぐ、10,777円で2位の金額でした。

2024年は、コロナの流行も落ち着き、外出の頻度も高まったのではないのでしょうか？そこで、「旅行」への支出を見てみます。

コロナ禍の2020年は、大きく減少していますが、2022年からは年々回復しています。

消費支出金額に占める割合も、2009年、2007年に続いて3番目に大きいです。

今回は、家計調査の結果の一部をご紹介しました。家計調査では、上記のほかにも様々な品目の支出金額を知ることができます。気になった人はぜひ、政府統計の総合窓口e-Stat (<https://www.e-stat.go.jp>)で家計調査と検索し、気になる調査結果を探してみてください。

また、熊本県では、2025年2月現在、熊本市、荒尾市、山鹿市の3つの市町村の一部の地域で家計調査を実施しています。調査の実施に際して、熊本県知事が任命した調査員が、調査対象地域にお住いの世帯を訪問しますので、御協力をお願いいたします。

調査員は、調査員証を携帯していますが、不安に思われた場合は、訪問した人物や調査地域を確認いたしますので、下記連絡先までご連絡ください。

→連絡先：熊本県統計調査課 生活統計班 家計調査担当
096-333-2178(直通)

問合せ先：熊本県企画振興部 交通政策・統計局 統計調査課 総務資料班 〒862-8570 熊本市中央区水前寺6-18-1

電話：096-333-2174 / Fax：096-384-7544 / メール：toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp